

平成 29 年度第 2 回 柏市子ども・子育て会議での主な意見

7 月 31 日に開催された同会議において、計画の見直しについて出された主な意見をご紹介します。

- ❖ 利用者支援事業について、設置に当たっては地域バランスを考えてほしい。
- ❖ 児童福祉法の主体的権利の尊重と、子どもの最善の利益の確保については子育てや子育て支援に関わる人たちだけの問題ではなく、市民全体が再認識すべきこと。子育てや子育て支援全ての出発点になる考え方であるため、計画の見直しには直接関係ないかもしれないが、答申に触れておくべき。
- ❖ (6) 貧困の状況にある子どもへの支援については、「柏市子どもの貧困対策推進計画」によるとの見直し案となっているが、同計画の策定・推進に関わる「かしわこどもの未来応援会議」は、市長を座長として、役所の関係部署の関係職員から成り立っているものであり、子どもの貧困に関係して活動している方や、直接的に関わっている市民レベルの方が関わって策定した計画ではないため、「ノーマライゼーションかしわプラン」と同等の記載でよいか疑問がある。
- ❖ 企業主導型保育は国から公費が出ているものの、認可外施設であり、計画の中での位置付けについては、慎重に議論すべきである。